



はなれて、つながる3つの方法

校長 小林 理人

新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、緊急事態宣言・措置に伴う臨時休業期間の延長が決まりました。「ステイホーム」「自粛」の効果もあって、少しずつ明るい兆しが見えてきましたが、ご家族の健康や感染への心配、終息が見えない社会生活への不安など安心できない毎日が続きます。

私たちも、必要最小限の教員が出勤するという環境の中で、学校再開への準備や、自宅で学習する子供たちへの支援など、経験のない事態に試行錯誤しながらの勤務が続いています。突然の大きな変化に、戸惑いや教育環境の不整備から、子供たちや保護者の皆様にはご心配、ご迷惑をおかけしました。不測の事態の連続でしたが、保護者の皆様のご理解とご協力により、大きな事故や混乱もなく5月を迎えることができました。保護者の皆様の力の大きさを改めて感じるとともに、心から感謝申し上げます。

5月も家庭での学習が中心になります。先日は、希望されたご家庭への電話連絡をさせていただき、保護者の皆様のご苦勞、家庭学習の難しさを痛感し、多くの課題を把握することができました。また、国や市からは、家庭学習の充実を図り、学習内容の定着を図るためのガイドラインが示されました。

そこで、5月は保護者の皆様と共に家庭での学習や生活の充実を図るために、家庭ですべき学習の内容や生活の仕方を具体的に示したり、保護者の皆様や子供たちとのつながり方を工夫したりします。

具体的には以下の3つの方法を考えています。詳しくは裏面「5月の学習と生活」をご覧ください。

学校生活を想定した枠組(基準・目安)

「学習計画表」(時間割)や生活表「二松カード」などを活用し、家庭学習に学校生活を想定した枠組(基準・目安)をつくります。学習計画表は学習時間の枠組、生活表は安全で規則正しい生活の枠組となります。子供たちがその枠組を意識し、発達段階やご家庭の状況に合わせて学習を進めたり、めあてを意識した安全で規則正しい生活をしたりすることで、家庭での学習や生活の充実を図ります。

学習内容の定着を図り、主体性・計画性を育てる課題表

学習内容の定着を図ったり、子供たちが主体的、計画的な学習を進めたりするために学習することを詳しく示した課題表を配布します。子供たちは課題表をもとに学習の計画を立てます。

課題表は学年毎に作成し、配布・回収日に配布したりホームページに掲載したりします。課題表には毎日取り組むベーシックタイムと、教科ごとに取り組む内容を示した「今日の課題」が示されています。ベーシックタイムは毎日継続して行うことで基礎となる学力を育てます。「今日の課題」は、学年毎の学習内容の定着を図るための課題です。教科書や教材等を活用して進めます。課題表の他に「運動カード」や教科ごとの課題を示したお便りも活用しながら、家庭学習で子供たちの学力を育てます。

教員等と子供たちや保護者の皆様との関係づくり

子供と担任との関係づくりの方法は、地域の感染状況やインターネット環境の整備具合によって異なります。直接かかわることのできない状況では、教員等が作成する課題表やお便り、ホームページを活用した関係づくりが中心となります。また、ご家庭で直接お子様と関わっていただく保護者の皆様とも、校務用携帯電話を使った相談などを行う予定です。そして、家庭と学校をつなぐネットワーク環境が整えば、PC等を活用したコミュニケーションも可能になります。更に、外出自粛が緩和されれば、子供や保護者の皆様と担任が直接関わることも段階的に可能になるでしょう。このように、環境の整備や社会の状況を踏まえ、子供たちや保護者の皆様と担任がつながる方法を工夫し、教員等と子供たちや保護者の皆様とのよりよい関係をつくり、家庭での学習を支援します。

これまで経験したことのない環境での新たな挑戦です。先日ホームページで紹介した諏訪中央病院の玉井道裕医師は、ウイルス感染を乗り越えるための方法として「はなれて、つながる」ことを提唱しています。上記の方法は、学校や教員等と子供や保護者の皆様の心が「はなれて、つながる」取組です。この挑戦が学校再開後の学校生活に生きて働くことを信じて取り組んでいきます。直接つながることができない子供たちに、メッセージを書きました。また、ホームページ(二小ニュース)を活用した二小クイズなど子供たちや保護者の皆様と「はなれて、つながる」方法を考え、実行していきます。

たいせつな みんなへの メッセージ

はなれていても できること

こうちょう こばやし ともひと
校長 小林 理人

にゅうがくしき しぎょうしき げつ げんき
入学式や始業式から1か月がたちました。元気ですか。

せ たか こころ まえ
背も高くなり、心もたくましくなっていることでしょう。今まであたり前
きたことができなくなり、こまったことや楽しいこともあるかもしれません。



よくがんばっています。そして、よくがまんしていますね。えらいです。

1年生は「おはよう」「ありがとう」をつかってえがお
笑顔ですごしていますか。

きっと、げんきなあいさつで、かぞくをえがお
笑顔にしていることでしょう。すごいね。

2年生から6年生は、じぶんからすす べんきょう てつだ
自分から進んで勉強やお手伝いができていますか。

ことば み ちから げんき えがお
ふわふわ言葉をたくさんつかって、家族みんなで楽しい生活ができていますか。きっと、
これまで二小で身につけた力をいかして元気に笑顔ですごしていることでしょう。

こころ からだ せいちょう め
みんなの心や体の成長が目にかびます。

さて、5月になりました。こうちょうせんせい がっこう べんきょう
校長先生はみんなと学校で勉強をしたり、あそんだりするこ
とをたのしみにしていました。でも、ざんねんなことに、5月もみんなといっしょに学校で
べんきょう
勉強したり、あそんだりをすることができなくなりました。

5月は、4月にがんばったことや せいちょう
成長したことをいかして、はなれていても楽しく
べんきょう せいかつ
勉強や生活ができるように3つのことにチャレンジします。

- 1 がくしゅうけいかくひょう じかんわり じぶん すす べんきょう
学習計画表(時間割)をつくって、自分から進んで勉強をします。
- 2 けんこうかんさつひょう せいかつひょう にまつ けんこう あんぜん せいかつ
健康観察表と生活表(二松カード)をつかって、健康で安全な生活をします。
- 3 かだい うち しごと いま ちようせん
先生からの「課題」や「お家の仕事」など、今できることに挑戦します。

みんなの大切な命を守るために先生や友達とはなれて学習や生活をするようになります。

でも、はなれていてもこころ
心はつながっています。いつもみんなのことを応援している友達
おうえん ともだち
や先生がいます、みんなでいっしょに学習や生活ができる日は必ずきます。その時まで

「はなれていてもできること」をして、ちから
力をつけていきましょう。

さいご
最後に、6年生。こうちょうせんせい やくそく わす ときべつ かなら
校長先生は6年生との約束を忘れていません。「特別な1年」に必ず
なります。なると信じています。そのために力をつけましょう。そして、「特別な1年」に
しん ときべつ
するために力をたくわえましょう。